

5 国有林野の事業運営

5 国有林野の事業運営

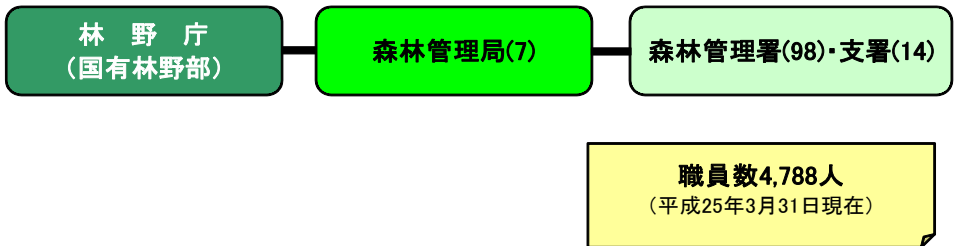
(1) 管理経営の事業実施体制

国有林野事業は、ブロック単位の7森林管理局、流域単位の98森林管理署の下で、民間事業者へ委託できる業務は基本的に委託するとともに、情報システムの活用などに取り組み、効率的な管理経営に努めています。平成25年4月1日からの一般会計移行後における管理経営に当たっては、7局98署の体制は維持しつつ、内部組織について所要の見直し等を行っております。

① 民間委託の推進

特に、伐採、造林等の実施行為については、民間事業者への委託化を基本としており、平成24年度は、伐採（素材生産）の全てに加え、人工造林、保育（下刈）についてもそのほとんどを民間委託により実施しました。

図－３ 管理経営の事業実施体制



表－１９ 民間委託の実施状況

区 分	平成24年度	(参考) 平成23年度
伐採(素材生産)	2,335千 ³ m	2,078千 ³ m
委 託	2,335千 ³ m (100)	2,078千 ³ m (100)
人工造林	4,746ha	3,691ha
委 託	4,730ha (100)	3,683ha (100)
保育(下刈)	67,482ha	69,978ha
委 託	69,404ha (100)	69,884ha (100)

注：１ ()書は、全体に占める委託の割合(%)である。

２ 分収造林における実績は、含まない。

３ 人工造林及び保育(下刈)は、分収造林及びボランティアによる実施を除く。

② 情報システムの活用

平成24年度は、事務処理の効率化を図るため、国有林野情報管理システム等の安定的な稼働や、国有林野事業の一般会計移行に対応した修正など機能の充実に努めました。

また、平成19年度から導入している国有林GIS^{注)}については、効率的な国有林野の管理経営を進めるため、施業計画作成や事業実行等に役立つ機能の充実に図り、様々な事業で活用しています。

③ 労働安全衛生の確保

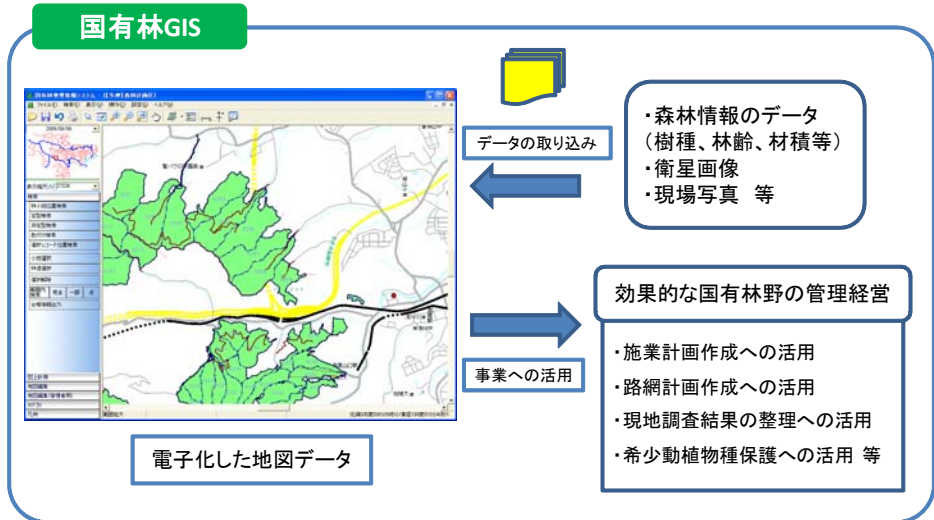
平成24年度の労働災害の発生件数は、平成23年度と比べて増加しています。

引き続き、重大災害の根絶はもとより、労働災害の未然防止に向けた取組を推進するとともに、心の健康づくり対策にも力を入れるなど、労働安全の確保と心身両面にわたる健康づくりを進めています。

表－２０ 労働災害の発生状況

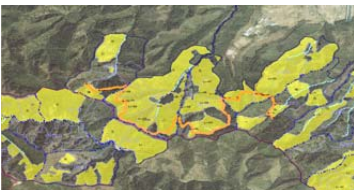
区 分	災 害 発 生 件 数			
	死亡	重傷	軽傷	合計
平成24年度	0(0%)	14(38%)	23(62%)	37
(参考) 平成23年度	0(0%)	13(43%)	17(57%)	30
(参考) 平成22年度	0(0%)	18(40%)	27(60%)	45

図－4 国有林GISの活用



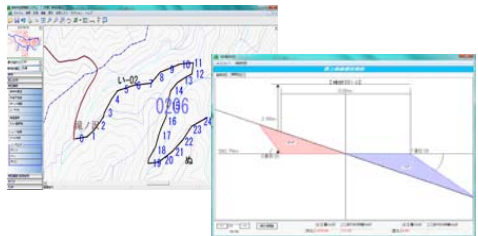
活用例1

間伐等施業候補箇所の抽出



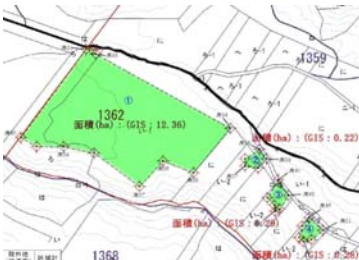
活用例2

路網の線形の確定



活用例3

GPSと連動した施業地の位置や面積の表示



活用例4

希少動植物種の生育・生息情報の管理



(2) 平成24年度の収支

平成24年度は、自然環境の保全等に配慮を行いながら、林産物の販売量の確保等により収入確保に努めました。

一方、支出については、職員数の適正化や低コストで効率的な作業システムの普及等により、人件費や事業費の縮減に努めました。

こうした一連の収支改善努力の結果、引き続き新規借入金をゼロとするとともに、前年度を20億円上回る41億円の債務返済を行いました。

表－ 2 1 平成24年度の国有林野事業特別会計の収支

収 入				支 出			
科 目	平成24年度	平成23年度	前年度との差	科 目	平成24年度	平成23年度	前年度との差
事業収入	285	294	△ 9	人件費	492	561	△ 68
林産物等収入	207	217	△ 10	定員内職員給与等	406	455	△ 48
林野等売払代	30	29	0	林野基幹作業職員給与等	86	106	△ 20
財産貸付料等収入	48	48	1	事業経費	806	745	61
雑収入	8	8	△ 1	森林整備費	669	607	62
国有林野事業雑収入	8	8	△ 0	事業費	137	138	△ 1
治山事業雑収入	0	0	△ 0	利子・償還金	2,977	2,877	101
一般会計より受入	2,075	1,540	535	借入金	97	117	△ 20
事業施設費財源	893	672	221	償還金	2,881	2,760	121
公益林等保全管理費財源	303	334	△ 31	交付金等	59	59	1
利子財源	97	117	△ 20	治山事業	335	347	△ 12
治山事業費財源	783	417	365				
東日本大震災復興特会より受入	79	-	79				
事業施設費財源	53	-	53				
治山事業費財源	25	-	25				
地方公共団体工事費負担金収入	50	30	20				
借入金	2,840	2,739	101				
新規借入金	-	-	-				
借換借入金	2,840	2,739	101				
合 計	5,336	4,611	725	合 計	4,670	4,588	82

注：1 本表は、単年度における発生ベースの収入（販売契約額等）と支出（支払義務の生じた額）をそれぞれ集計したものである。
2 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。
3 債務返済額は、償還金と借換借入金の差額である。（平成23年度：21億円、平成24年度：41億円）

表－２２ 林産物等販売の状況

(単位：万m3、億円)

区 分	平成24年度		(参考) 平成23年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
林産物等収入	—	207	—	217
立木販売	47	11	58	14
素材販売	236	182	213	184
その他	—	1	—	1
分収林等 (うち民収分)	128 (83)	12 —	191 (114)	18 —

- 注：１ 数量は、立木販売、分収林等については立木材積で、素材販売については素材（丸太）材積で示している。
- ２ その他は、雑収である。
- ３ 分収林等は、分収造林、分収育林、官行造林であり、金額は、それぞれの官収分となっている。
- ４ 立木販売の金額には、立木販売のほかに環境緑化用樹木、立木竹及び幼齢木補償料等が含まれる。
- ５ 計の不一致は、四捨五入による。

表－２３ 林野・土地の売払い状況

(単位：ha、億円)

区 分	平成24年度		(参考) 平成23年度	
	面積	金額	面積	金額
林 野	512	19	378	15
土 地	9	6	6	8
計	521	25	384	23

表－２４ 林野・土地の用途別売払い状況

(単位：ha)

年度等 区 分	平成24年度		(参考)平成23年度	
	林野	土地	林野	土地
所管換・所属替	249(49)	-(-)	293(77)	-(-)
公用・公共事業用	59(11)	1(11)	64(17)	3(50)
産業振興用	200(39)	-(-)	-(-)	-(-)
その他	4(1)	8(89)	21(6)	3(50)
計	512(100)	9(100)	378(100)	6(100)

- 注：１ () 書は、計に占める用途別の比率(%)である。
- ２ 「所管換」とは、他省庁への売払い、「所属替」とは、農林水産省内の他部局への売払いのことである。
- ３ 計の不一致は、四捨五入による。



雌阿寒岳から望む阿寒湖（北海道森林管理局）